



# こくろうよなご

第17号

2024年4月25日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

# 教育現場も大変だ！

## 組織拡大交流会を開催

4月20日、米子地方本部事務所にて「組織拡大交流会」を開催しました。講演と24春闘報告・衆議院補欠選挙の取り組み、そして、分散会では組織拡大に向けた教訓や課題等について議論を行い、当面する取り組みなどについて意思統一を行いました。

### 高度化する仕事！

交流会の開催にあたり倉下委員長より、「組織を取り巻く状況は厳しいが、情勢も何時変わるかわからない。今出来ることをしっかりと取り組むことで、か、展望も見いだせない」と挨拶があり、続いて鳥取県高等学校教職員組合（高教組）の岡島委員長より「鳥取高教組における組織強化・拡大の取り組み」をテーマに講演を頂きました。

はじめに教育現場の現状と高教組としての取り組みなどについて



挨拶する倉下委員長

鳥恒志氏  
鳥取県高等学校教職員

「教育現場にもコンピューターが導入され、仕事が高度的・複雑化し、教員という専門職から離れていっている」「教育実習で来た人に担任のような仕事をさせたりすることで、教員採用試験さえ受けられない学生も増えている。昔は10倍・20倍あった競争率が、今は2倍程度しかない」「現在の教組の重点課題は、○人手が足りないという事、金が少ないという事、過去に行財政改革で手当てをはぎ取られた」「鳥取県内の高校24校中、定員を満たしている学校は4校しかない、学級の減少・学校の統廃合にも繋がる。教組として小規模校を残せと議会への陳情や署名行動の取り組み、小規模校の再編を5年間延期させた」「公的部門では、特に保育士・図書館司書・教員の非正規化が進む中で、非



講演する高教組岡島委員長

正規職員の待遇改善をとり組んできた」など、報告されていきました。

また、学校現場に対する政策について、JRのローカル線廃止の尺度ともなる「輸送密度」は、高校で言う「入試結果の充足率（定員に対しての合格率）」、列車の減便は、「多様な教科科目設定の統廃合（教科の再編）」、JRにおける社会人採用は、「特別免許（教員免許のない社会人を教師として採用）」にあてはめ、「JRでの効率化と内容的には同質であること」「具体的な運動に学びあう事の大切さ」についても話がされていました。

### 活動実態の分析から

また、高教組の組織の現状については、退職や管理職登用などで組合員が減少し、50

歳以上の組合員が多くを占める中で、新規採用者の組織化に力を入れていると言われていました。そして、その為の重点取り組みとして、職場会の開催や職場ニュースの発行状況などの職場活動実態調査の分析からの課題を抽出していくなど報告されていました。

また、新規採用者全員について、オルグ担当を決め、組織拡大が進まない分会については、本部役員の方を訪問を取り組んでいるなど、役員が足を運んで課題などを一緒に考える姿勢に学ぶことも多くありました。

### 動かずしては・・・！

昼食をはさんで、吾郷書記長から「24春闘の回答について」「衆議院補欠選挙情勢と今後の取り組み方」についての提起があり、「組織拡大」をテーマに2班に分かれて分散会を行いました。（分散会の内容は別掲）

分散会報告を受けた後、吾郷書記長より「他労組の仲間と何処でつながるか。職場の

## 広がる多様な価値観！？

第1分散会の内容について報告します。

社会人採用の方が多く職場に配属され、仕事を次から次へとこなしていけることや「管理職が土・日に休んだり、社員より早く帰るのは信じられない」「JR西日本の効率化の進み具合はまだまだ遅れている」などの話を聞きながら、会社の言う多様な価値観とは、「これまで以上に効率的な仕事のやり方への意識が広がる」ことではないかとの懸念を感じました。

そして、効率化が進む職場で働き続けるこ

で課題などを一緒に考える姿勢に学ぶことも多くありました。

話を聞きながら、関係をつくり、職場の問題・改善課題など共通認識を持つことから組織の拡大につなげて行く」とまとめが有り、これ以降の具体的な取り組みとして、4月中に配属予定の新規採用者への加入オルグ行動の展開、社会人採用者にも積極的な声掛けを行うことを意思統一してきました。

動かずして、何も変わりません。具体的な行動、そして、地方本部へのオルグ報告をお待ちしています。

とへの不安も出されていきました。第一分散会では、特に健康面からの懸念が報告されていましたが、健康面に限らず家庭の環境変化などは誰にでも遭遇する可能性はあり、そうした場面においても働き続けられる職場を作るため、改めて労働組合の必要性について確認してきたところです。

また、駅の無人化や列車本数が削減される中で、雇用の場の確保も重要な課題となっています。出雲市駅で働く組合員からは、「出雲市から西は列車本数が少なくレンタカーが



2024.04.20